

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	えがお浪速区店		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 26日		令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 26日		令和8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員のスキルが高く、人柄が良い。 コミュニケーション能力も高い人材が揃っている。	・現在のスキルを維持しつつ、更なる高みを目指し相互に感謝の気持ちを持ちながら業務をこなしている。 ・外部、内部研修を積極的に受けながら子どもや保護者、関係機関などから「親しみやすい」「話しやすい」「頼れる」と思われる職員集団である事を意識している。	・今行っている事を継続し、今後も向上していく。 ・職員で相互に影響し合い、専門性など更に磨いていく意識を持つこと。
2	・祝日毎にイベントの開催があり、様々な経験が出来る機会がある。	・遠足(博物館・工場見学)、 事業所内での様々なイベント(親子交流会、夏祭り、運動会等) 外食やテイクアウトでの買い物など、親子で触れ合える機会や社会体験が出来るよう様々なイベントを提供している。	・社会資源を利用しながら、子ども達が様々な経験が出来るように今後もイベントを企画していく。 ・マンネリにならないよう対策を考える。 ・保護者にも楽しんで頂けるような工夫を怠らない。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・人材の不足。より良い支援をするために適切な人材、人員が不足していると感じる事がある。	・処遇面あるいは、求人の内容。	・魅力ある事業所作り。給与面等の処遇の改善。
2	・法定研修等の理解度の向上	・法定研修等は行っているが、 理解して実践しているかは難しいところがある。	・日々の意識付けの向上や、研修の充実。 ・事業所内研修のみならず、外部の研修にも積極的に参加するようにする。
3	・支援内容の充実	・一人一人の持ち仕事が多く、事務仕事と現場で子どもと関わる時間、両方を行う事で精一杯。 ・様々な支援方法を話し合い、議論する時間や支援に必要な物を製作する時間の確保が難しい。	・人材採用、業務の分散化、効率化を図り会議などに使える時間を増やす。 また外部研修にも積極的に参加し個人の支援スキルを上げながら全体にもシェアし事業所全体の支援スキルを上げていくようにする。